

どどど

中野区青少年育成
東部地区委員会
広報部
070-5554-8432
平成25年3月発行
第124号

体験は最大の防ぎよなり

東部 駆け込み体験
平成24年11月11日(日)
参加者21名

「怖い目にあつたら交番や『子ども110番の家』にあつてはならないことでも、万が一に備えて体験しておくことは大切なのは。環境部のこんな思いで始まった「東部 駆け込み体験」は昨年11月に3回目を実施されました。不審者に遭遇したという想定で、警察・コンビニ・『子ども110番の家』に駆け込んで助けを求める訓練です。



→不審者(役の人)にしつこく声をかけられた



緊急ランプ点灯!
→コンビニで店員さんに事情を話しました



回を重ねることに関係機関の協力が大きくなり、今回はこれまで以上に貴重な体験をすることができました。訓練とはいえ、コンビニでは警備会社には緊急通報。店内には警備会社からの対応放送が流れ、緊急ランプが点灯しました。
東中野駅の近くで、不審者(役の人)がしつこく声をかけてきました。付添いの大人も知らされていなかったできごとに参加者はびつくり。思わず交番に駆け込みました。
110番通報を体験した参加者は5年生。「最初は緊張したけど、優しい感じの男の人と話していくうちに緊張がほぐれて、安心して話がありました。」

きた」と感想を述べています。不審者にあつた場所や特徴、どちらの方向に行ったかなどを聞かれたそうです。また、携帯電話で中野警察に電話した参加者(4年生)は電話をしている途中でパトカーがきたことに驚いていました。



↑交番に行つて実際に110番通報



↓パトカー到着



↓体験をしっかりと身につけて

地域や警察の協力をいただきながら進化してきた「東部 駆け込み体験」ですが、残念ながらの参加者が少ないことです。実施の前に桃園小・塔山小・谷戸小にお知らせが配布されます。次回のチャンスに参加してみたいかがですか。

委員研修

平成24年7月13日(金)
東京ガス根岸工場 参加者30名

横浜市磯子区にある東京ガス根岸工場は日本で最初にLNG(液化天然ガス)を受け入れた工場です。大きな地上ガスタンクや地下ガスタンク、パイプや機械がいくつもあり、マイクロバスで工場内を見学しました。

薬物依存の怖ろを知って下さい

講演会

相良聡氏 講演 平成24年11月9日(金)
NPO法人ダルク(DARC)は1985年、薬物依存症の人たちが助け合いながら立ち直ることを目的に作られました。川崎ダルク施設長の相良聡氏と奥様の壮絶な体験を交えての講演に、参加者は真剣に聞き入っていました。

相良聡氏の話

薬物依存は病気です。治療法は薬物を飲まないことしかありません。薬物の最初の1回は想像を超えた「快感」です。そのあと、「普通」に戻ります。2度目の「快感」はそこまでいかない。だから量や回数を増やす。やがて薬が切れると「不快」に落ちる。回数を重ねると、薬なしでは「不快」の状態になってしまい、薬をやっと「普通」に。やがて薬を使わないと顔も洗えないようになります。

私ガボロボロになった時、親父が私の世話をしてくれま

した。それに行き詰ったとき、「刑務所か、ダルクか選べ」と言い、私はいよいよダルクに入りました。当時、ふつうの3〜4倍の薬物を一回入れていたから、よくて刑務所、悪ければ死んでいました。ダルクには、底を打った状態で運ばれてきます。そこからゆっくり上昇する人も死ぬ人も

相良桂子氏の話

私は14歳から薬物を覚え、前科2犯です。薬を使うことより、薬を手に入るために、犯罪を犯すことのほうが苦しかつ



＜参考書籍＞
ほんとうの「ドラッグ」 近藤恒夫著

「わが子には関係ない話」と言いきれませんか? 趣味の仲間が集まるような所でも、大人が未成年者に「(薬物が)あるけど、やる。」と簡単に声をかけてくるそうです。親の力だけでは、薬物から子どもを守ることはできません。子ども自身も、薬物の正しい知識を学ぶと同時に、どんなに親しい人からの誘いでも「NO!」と言える強さを身に付けなければなりません。感じました。



環境ポスター



平成24年8月1日から9月7日まで、大江戸線中野坂上駅通路に恒例の環境ポスターが展示されました。今年は171枚の応募があり、通りかかると人の目を引いていました。



ご飯は薪で炊き、
カレーはレトルト



ハイキング

6月10日(日)参加者44名
青年ボランティア9名
国立オリンピック記念青少年総合センター



日程表

1. 開会式
2. グループ作り
3. 昼食
4. カレー食材ゲットゲーム
5. ペットボトル提灯作り
6. カレー作り・夕食・片づけ
7. キャンプファイヤー
8. ナイトウォーク
9. 班ミーティング
10. 消灯

9月29日(土)

自分で
ニジマスをつかまえたよ

9月30日(日)

1. ラジオ体操
2. 朝食・そうじ
3. ミニハイキングで川渡り
4. ニジマスのつかみ取り
5. 昼食・魚供養
6. 班ミーティング
7. 閉会式

以下、楽しかったのは食材ゲットゲームやキャンプファイヤー。つらかったのは虫が多いこと、坂道や川を歩いたことと続きました。日ごろできないことをたくさん体験できた2日間でした。

参加者に楽しかったこととつらかったことを聞いてみると、楽しかったことも、つらかったことも、1位はニジマスのつかみ取りと調理でした。

チョーおいしかった



はじめて魚を
さばいてみた

このあと
骨を穴に埋めて
手を合わせました

お手製のペット
ボトルの提灯を持って
ナイトウォーク

日本の秋をお散歩

青年ボランティアにも聞いてみました。

- 質問1 学生さんですか?社会人ですか?
質問2 東部ミニリーダーに関わって何年目ですか?キャンプは何回目の参加ですか?
質問3 東部ミニリーダーでボランティアをするようになったきっかけは何ですか?
質問4 ミニリーダーに参加する時に、北見講師から受ける注意などはありますか?
質問5 ミニリーダーの活動や今回のキャンプで感じたことは?

シュウマイさん

1日本体育大学 スポーツ教育コース 22年目 2回目 3北見さん
4子ども側に立って考えるようにしています。5回を重ねるごとに実感する子どもの成長。子どもたちの顔つきも変わってくる。経験することが大事と実感。考えて動く、協力して動くことを小学生のうちに経験できるとがうらやましい。

おぐさん

1社会人 自営業 24年目 3回目 3北見さん 4目標と安全 5子どもはちゃんと1年前のことを覚えているので、内容はどんどん変えた方がよい。大浴場での入浴のマナーを知る企画もよいと思う。

こーじさん

1社会人7年目 営業および企画 28年目 6回目 3地域で能動的な子どもの育成活動をしていることを知り、今の子ども達の現状と自分のできることを確かめたかったから。4最優先は子供たちの安全。活動のテーマを自分で解釈して子どもたちに接すること。5チームワークを考えながら楽しんでいる光景が多く、北見さんの意図が伝わった有意義なキャンプだった。

キンボール

11月18日(日)
参加者18名
塔山小学校体育館



東部ミニリーダーは1年間コツコツと仲間づくりをしています。その成長は地味だけど確実。それが自慢です。



閉講式

12月16日(日)
参加者33名
青年ボランティア3名

1年間のミニリーダー講習会も今日で終わり、6年生は今年で卒業です。2年生から講習会に参加した何人かのミニリーダーは「毎年とても楽しかった」と思い出を語ってくれました。

北見講師から1年間の活動を終えたミニリーダーに次のようにお話がありました。

「私たちは友達と一緒にになって、ある一つの目的を成しとげることによって、『仲間』ができることを学びました。このような活動と努力を続けることで、私たちは自分の『夢』を育てることが出来ます。人生に必要なものはチャレンジです」

皆勤賞
17名

塔山小 2年 立川佑哉・林田和奏
3年 信江将吾・佐々木陽菜・中村綾乃・前田雪月・室谷緑香
4年 説田悠花・森菜月・大谷明佳
5年 大村実咲・佐野愛美・前田斗也・野澤彩花
6年 林怜奈・深澤菜月
桃園小 5年 中村円香

精勤賞
14名

塔山小 2年 的場迅
3年 北川ひかり・塚本愛子・松谷希
4年 河野知帆・新里唯・中林唯・橋本佳奈
5年 村田悠真・中林瑠
6年 柴田真子
桃園小 2年 佐藤愛美・橋本瑛莉奈 4年 橋本怜於奈



全員がうどんを
踏んでみました



井澤先生が
(前谷戸小学校長)
手打ちうどん
の先生

うどん作り体験

7月8日(日)
参加者38名
塔山小家庭科室



うどんのし



うどん切り

おいしかった〜